北海道における
教員育成指標　活用ガイド

自分を　とらえ　高める

教員が育つために大切なことは、目標をもって学び続けること

教員としての
基礎を身につけたい
初任段階の先生

授業力や担当業務の
遂行力を高めたい
中堅の先生

学校の中核として
学年や分掌を
引っ張りたい
ミドルリーダー

自分の専門性や
長所を活かして
学校を支えたい
ベテランの先生

それぞれのキャリア・ステージに応じた学びを広げ、深めるために

Guide1 教員育成指標を「**知る**」

Guide2 教員育成指標を基に、自分自身を「**とらえる**」

Guide3 教員育成指標を拠り所に、自分自身を「**高める**」

北海道教育委員会

Guide1 教員育成指標を「知る」

「教員育成指標」は、「北海道の教員育成の考え方」や「北海道の教員として求められる資質能力」を示すものです。この指標を参考に、自分の長所や個性を十分に活かした目標をもち、日常の実践や多様な研修の機会を活用して、自らの資質能力を高めていきましょう。

校種別・職種別の全体版はこちらから

1　北海道の教員育成の考え方

一人一人が、**主体性**が尊重された**心理的安全性**の下、**日常の教育実践**や**多様な研修**の機会、**教員同士の学び合い**を通して、個別最適・協働的に学び、資質能力の向上や個性・長所の伸長を図る

2　北海道の教員に求められる３つの資質能力

資質能力		目指す教員像・期待される具体の姿
教職としての素養		**教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員**
教育的愛情		・子ども一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、それを伸ばす。
使命感や責任感・倫理観		・子ども一人一人の学びに責任をもち、時代に応じた教育、学校の社会的役割及び教育公務員として遵守すべき法令等を理解し、職務上の義務を果たす。
総合的人間力		・社会体験や保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める。
教職に対する強い情熱・人権意識		・教職への誇りをもち、人権意識に基づき、教育活動において全ての子どもを尊重する。
主体的に学び続ける姿勢		・情報収集や各種研修等を通して、必要な資質能力を身に付けるために学び続けようとする。
実践的指導力・専門性		**教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員**
教科等（保育）や教職に関する専門的な知識・技能		・教職の意義や教員の役割、教科等や職務内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、 職務に生かす。
授業力		・学習指導要領等を踏まえ、子どもの心身の発達や学習過程について理解し、ねらいを明確にした学習者中心の授業を展開する。 ・子どもの興味・関心を引き出す教材研究や協働した授業研究を行う。
今日的な教育課題への対応力	主体的・対話的で深い学びの実現	・「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について理解し、授業づくり・実践・評価・改善等を行う。
	カリキュラム・マネジメント	・カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教育活動の不断の検証・改善を行う。
	道徳教育	・道徳教育の目標を理解し、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育を実践する。
	外国語教育・国際理解教育	・外国語教育や国際理解教育の重要性や課題を理解し、実践に生かす。
子ども理解力		・子どもに積極的に関わり、子ども一人一人の心身の発達の過程や特徴、背景や環境を含めて的確に子どもを捉える。
生徒指導・進路指導力		・個や集団を指導するための手立てを理解し、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長を援助する。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、自己実現を図る指導を行う。
学級経営力		・子ども同士のコミュニケーションを促進し、計画的に望ましい集団をつくり上げる。 ・子どもたちとの信頼関係を構築して、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す。
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力		・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、実践に生かす。 ・組織的な対応に必要な知識・支援方法を理解し、学習上、生活上の支援を工夫する。
ＩＣＴや情報・教育データを利活用する力		・授業や校務等で ICT を効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用する。 ・子どもの情報活用能力を育成する授業実践を行う。
連携・協働する力		**学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員**
学校（園）づくりを担う一員としての自覚と協調性		・職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動する。
コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）		・考えや学校の方針等を分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を理解し意思疎通を図り、良好な人間関係を構築する。
組織的・協働的な課題対応・解決能力		・自らの学びと実践、省察を通して身に付けた課題対応・解決能力を生かし、他の教職員と 積極的に関わり、学校運営の持続的な改善に求められる役割を果たす。 ・危機管理の知識や視点を身に付け、職務に生かす。
地域等との連携・協働力		・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みを理解し、保護者や関係機 関等と連携・協働して取り組む。
人材育成に貢献する力		・支え合える環境をつくるとともに、他の教職員を積極的に支援する。

Guide2　教員育成指標を基に、自分自身を「とらえる」

道教委では、先生方が、教員育成指標を基に、ご自身の資質能力を自己評価できる「自己診断シート」を提供しています。

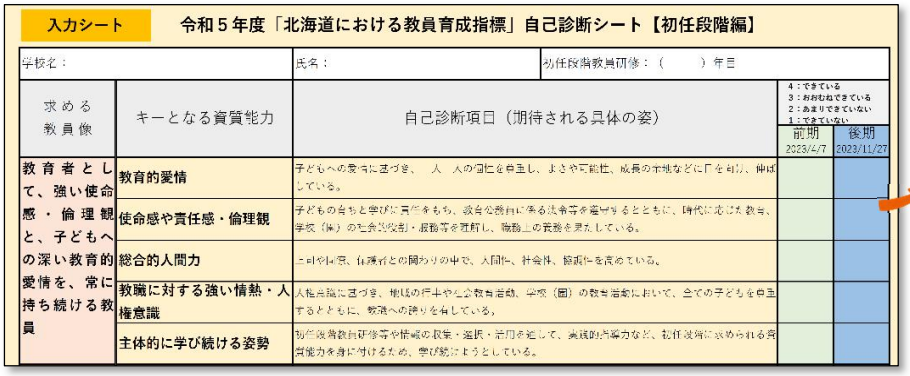
1　「自己診断シート」活用のメリット

・「自己診断シート」は、シートの入力を通して、自分自身の教員としての歩みを振り返り、強みや弱み、その要因を明らかにし、向上を目指したい資質能力や必要な研修等の見通しをもつことができます。

「教師としての基礎を学びたい初任段階の先生」「専門性を一層高めたい中堅の先生」「自分の個性や長所に活かして学校を支えたいミドルリーダーやベテランの先生」、それぞれのキャリア・ステージに応じて活用できます。

2　「自己診断シート」の使い方

①「入力シート」で自己診断



入力シート　令和５年度「北海道における教員育成指標」自己診断シート【初任段階編】

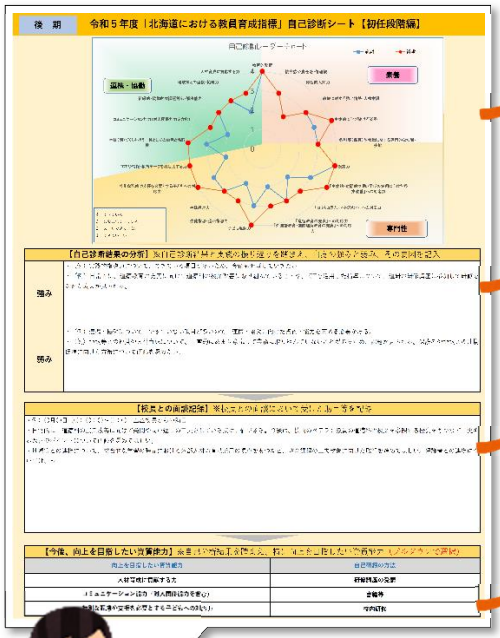
学校名：	氏名：	初任段階教員研修：（　　）年目

求める教員像	キーとなる資質能力	自己診断項目（期待される具体の姿）	4：できている 3：おおむねできている 2：あまりできていない 1：できていない 前期 2023/4/7	後期 2023/11/27
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。		
	使命感や責任感・倫理観	子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。		
	総合的人間力	上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。		
	教職に対する強い情熱・人権意識	人権意識に基づき、地域の行事や公教育活動、学校（園）の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。		
	主体的に学び続ける姿勢	初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。		

自己診断シートは、こちらから

・育成指標に示されている資質能力ごとに**４段階で自己評価**をします。
・**前後期の年間２回**の入力欄がありますので、自分の**変容を確認**することができます。

②「分析シート」で振り返りと見通し



後　期　令和５年度「北海道における教員育成指標」自己診断シート【初任段階編】

レーダーチャート

・入力シートに数値を入力すると、結果が自動的にレーダーチャートに示され、**自己評価が可視化**されます。
・**前後期のレーダーチャートを比較**すると、ご自身が強みや課題としてとらえている資質能力を確認できます。

自己診断結果の分析欄

・レーダーチャートを基に、自身の**強みや弱みの要因**などについて、自己分析欄に整理します。

校長との面談記録欄

・自己分析結果や日常実践の振り返りを踏まえて校長との面談を行い、校長から受けた**アドバイスなどを整理**します。

学びの見通しの検討欄

・自己診断結果やアドバイスを踏まえ、自身が**向上を目指したい資質能力や学びの機会の見通し**をもちます。

シートを活用した先生の声

レーダーチャートで自分の課題意識が明確になりました。
校長先生との面談では、自分で考えた学びの方向性について、背中を押してもらい、自信がもてました。

Guide3 教員育成指標を拠り所に、自分自身を「高める」

道教委では、先生方がご自身の主体性を大切にして、個別最適に学びを進めていくことができるよう、様々な学びの機会を案内する研修サポートツール「研修Linkナビ」を提供しています。

研修 Link ナビは、こちらから

1　「研修 Link ナビ」活用のメリット

・「研修 Link ナビ」は、教員育成指標の資質能力ごとに、多様な研修テーマや研修講座、研修教材を紹介していますので、「自己診断シート」結果を活かして、先生方が必要な学びを検索・選択することができます。

Link1	・**様々な研修テーマを一覧**でき、自分の目標や課題意識に合う分野を探すのに最適です。
Link2	・**講座や研修動画の内容を確認**でき、自分に最適な学びの機会を見付けることができます。
Link3	・**講座のねらいや内容、時期を調べる**ことができ、年間の学びを見通すことができます。

2　教員育成指標を拠りどころにした「学びのセルフ・マネジメント」

・教師が教職としての資質能力を高めていくためには、自らの資質能力を分析し、振り返り、更に成長していくという「学びのセルフ・マネジメント」に取り組むことが大切です。

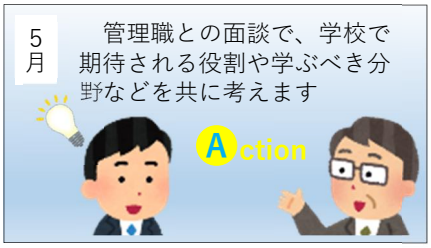
・「自己診断シート」「研修 Link ナビ」を活用することで、教員育成指標を拠りどころにした「学びのセルフ・マネジメント」を促進することができます。

「学びのセルフ・マネジメント」の例

4月

まずは、自己診断シートで、自身の資質能力を可視化します

5月

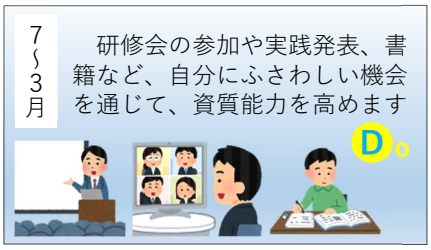


管理職との面談で、学校で期待される役割や学ぶべき分野などを共に考えます

6月

研修 Link ナビで、学びを深めたい研修テーマや研修講座、研修動画を検索します。

7～3月



研修会の参加や実践発表、書籍など、自分にふさわしい機会を通じて、資質能力を高めます

オススメ！ Link 1　教員育成指標の資質能力ごとに、道教委の研修講座と NITs の校内研修動画を紹介しています

・スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み込み、時間や場所を問わず活用できます。

・道立教育研究所や特別支援教育センターをはじめ、道教委が開設している全ての研修講座をカテゴリーごとに一覧しながら、検索することができます。

・NITsの研修動画は、学校全体の校内研修や学年・教科の打合せ、先生方の自己研鑽など、ニーズに応じて活用できます。（20～30分の短時間構成、全国的な著名な講師陣）